



## まちの話題

### 健康長寿を祝う

8月27日～29日にかけて、鹿角市敬老会が開催され、市内75歳以上の方6514人のうち、1306人が参加し、お互いに長寿を祝いました。

式典では児玉市長が「昨日よりも元気な今日、今日よりも元気な明日を目指して頑張ってください」と挨拶しました。

式典終了後は、保育園児による余興やなまはげ太鼓などが披露され、参加者は笑顔で楽しんでいました。



### 学生が地域活性化の提案

武蔵野大学の学生10人が、本市に1カ月間滞在し、商店街の活性化と観光の振興をテーマに研究活動を行いました。9月5日には、文化の杜交流館コモッセで報告会が行われました。

発表では、課題として「情報発信力やPR力が足りない」「若い人が少ない」などが挙げられ、対策として若者向けの動画やスマホで見られるマップ、パンフレットの作成を提案しました。また、鹿角の人々の温かい人柄など、滞在中に感じた鹿角への想いを熱く語りました。



### かづの北限の桃

移住コンシェルジュが移住者ならではの視点で本市の魅力を発信しています。今回は、今が旬な鹿角の味覚を紹介します。

県外出身の私たちは、桃といえば7月から8月ごろに食べる果物だと思っていました。しかし、鹿角では、桃が9月でも出荷されていることを知り、とても驚きました。

桃を育てている地元の農家さんが、「北限の桃」というブランドで、全国各地に出荷している」と教えてくれました。また、糖度を満たした桃だけが出荷されていることや、桃は非常にデリケートな果物で、少しでも傷がついてしまうと輸送している間に傷んでしまうことなども教わりました。

北限の桃を実際にいただきましたが、糖度を測っているだけあって、甘みがあり、おいしかったです。食感が良くて食べ応えも十分でした。これからも桃をたくさん食べたいです。

### 枝豆

鹿角に移住してから、地場産品の野菜のおいしさに驚いています。なかでも、特に驚いたのが「枝豆」です。鹿角の盆地は、昼と夜の寒暖差が大きいため、糖分がどんどん蓄えられ、おいしい枝豆ができるそうです。枝豆は、豆と野菜、両方の栄養的利点を持ったスーパーフードで、うまみが強く、口の中であわつと甘さを感じます。

皆さんも鹿角の旬な味覚をぜひ楽しんでください。

政策企画課 鹿角ライフ促進班  
☎30-02008



### かづのを元気に かづの元気フェスタ

9月15日に市役所周辺の特設会場で、かづの元気フェスタが開催され、多くの来場者で賑わいました。

特設ステージでは、園児によるダンスが披露され、会場からは拍手が沸き上がりました。

また、ちびっこ広場では警察・消防・自衛隊の車両展示やおもちゃ作りなどのさまざまな体験が用意され、親子で訪れた来場者を楽しませました。

### 百歳長寿を祝う 湯瀬勇吉さん

湯瀬 勇吉さん（大正8年十和田大湯生まれ）が8月22日に、満100歳の誕生日を迎え、阿部副市長が顕彰状と祝い金を送り、長寿を祝いました。湯瀬さんは、8年間軍に入隊し、軍学校や海外勤務を経験しました。振り返ると、その頃が一番楽しかったと話します。現在でも、記憶力や動作などがしっかりとっているため、家族も本人に任せていることが多いそうです。長生きの秘訣は「他力本願ではなく、自分で動くこと」と話していました。



### 移住者紹介

鹿角市に新たな仲間が増えました

### 神奈川県からUターン 花田英子さん

はなた えいこ

神奈川県の逗子で5年ほど、カフェと雑貨店を共同経営していて、地元に戻ることを考えてはいました。

しかし、先に移住をしたパートナーが「鹿角」でゲストハウスとカフェをオープンすることに、チャレンジしている姿を見て、「私も何か貢献したい！」と引っぱり張られるように移住を決めました。



ゲストハウス Bar & Stay Yuzaka

鹿角は水が綺麗で自然が豊かな場所だと日々感じていて、エネルギーが溢れている歴史も深く、なにより人が面白いと思えました。

自分の地元なのに忘れていたことが多く、帰ってきてから改めて感じた魅力でした。

鹿角では、世界から厳選した有機ワインを築160年の蔵で販売する「Kura wine Oyū」の開店に続き、先月には「ゲストハウス Bar & Stay Yuzaka」をオープンしました。丁寧な接客でゆったり過ごしてもらえような空間を作っていきたいです。また、ヨガのインストラクターをやっていた経験を活かした活動もしていきたいです。ぜひ遊びにいらしてください。